

医療・介護を通じた街づくり・人づくり・思い出づくり

永生病院	〒193-0942	東京都八王子市梶田町 583-15	☎ 042 (661) 4108
南多摩病院	〒193-0832	東京都八王子市散田町 3-10-1	☎ 042 (663) 0111
みなみ野病院	〒192-0916	東京都八王子市みなみ野 5-30-3	☎ 042 (632) 8118
永生クリニック	〒193-0942	東京都八王子市梶田町 588-17	☎ 042 (661) 7780
クリニック0 (ゼロ)	〒193-0943	東京都八王子市寺田町 490	☎ 042 (666) 1556
クリニックグリーンガラス	〒193-0835	東京都八王子市千人町 4-12-3	☎ 042 (673) 5558
グリーンガラス南大沢クリニック	〒192-0372	東京都八王子市下柚木 2-26-11	☎ 042 (682) 3580

認知症グループホーム

寿限無	〒193-0942	東京都八王子市梶田町 590-4	☎ 042 (662) 6500
-----	-----------	------------------	------------------

介護老人保健施設

イマジン	〒193-0942	東京都八王子市梶田町 583-15	☎ 042 (662) 7000
マイウェイ四谷	〒160-0015	東京都新宿区大京町 1-3	☎ 03 (3355) 0428
オネスティ南町田	〒194-0004	東京都町田市鶴間 7-3-3	☎ 042 (788) 0373

訪問看護ステーション

とんぼ	〒192-0914	東京都八王子市片倉町 440-2	☎ 042 (632) 6351
めだか	〒192-0916	東京都八王子市みなみ野 5-30-41	☎ 042 (683) 1522
ひばり	〒193-0835	東京都八王子市千人町 2-13-8-1F	☎ 042 (649) 6917
いるか	〒192-0364	東京都八王子市南大沢 1-18-11-A103	☎ 042 (659) 2213
口 笛	〒194-0004	東京都町田市鶴間 7-3-3	☎ 042 (706) 8810

居宅介護支援事業所

ケアプランセンター えいせい	〒193-0942	東京都八王子市梶田町 583-15	☎ 042 (662) 7020
居宅介護支援事業所 片倉	〒192-0914	東京都八王子市片倉町 440-2	☎ 042 (632) 6335
ケアプランセンター ぴあの	〒194-0004	東京都町田市鶴間 7-3-3	☎ 042 (706) 8808

八王子市高齢者あんしん相談センター

高齢者あんしん相談センター 片倉	〒192-0914	東京都八王子市片倉町 440-2	☎ 042 (632) 6331
高齢者あんしん相談センター 寺田	〒193-0943	東京都八王子市寺田町 137-1	☎ 042 (673) 6425
高齢者あんしん相談センター 追分	〒192-0056	東京都八王子市追分町 7-17	☎ 042 (686) 1713

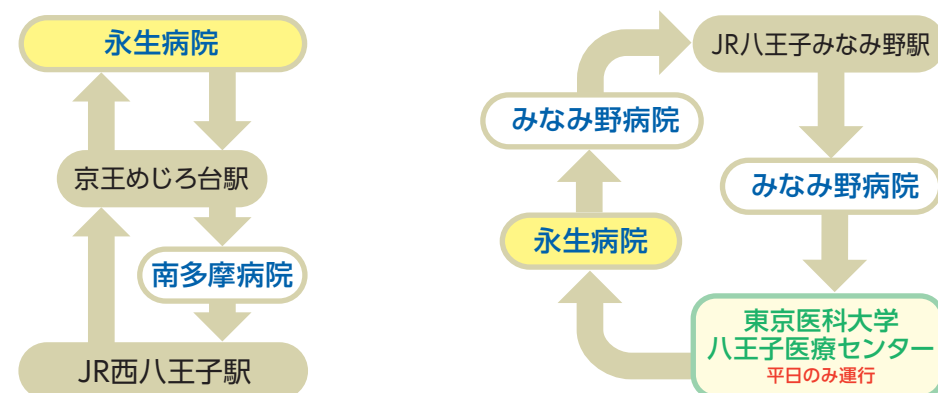
訪問介護

在宅総合支援サービス (有) 十字会ケアステーション	〒193-0833	東京都八王子市めじろ台 1-9-1	☎ 0120-537-0800
-------------------------------	-----------	-------------------	-----------------

シャトルバス運行中!!



永生会ではシャトルバスを運行しております。
ぜひ、ご利用ください。



ご自由にお持ち帰りください。



長野県松本市 美ヶ原

Contents

- みなみ野病院ギャラリー
- 新しい施設のご紹介
- 移転しました(訪看めだか)
- 永生病院のクリスマス
- 高齢者あんしん相談センターの取り組み
- 南多摩病院 救急救命士科のご紹介
- 永生会 キラリ人

みなみ野病院 ギャラリー

みなみ野病院では患者様や利用者様が作られた作品やスタッフが作った季節のものがたくさん展示してあります。今年の分を少しピックアップしてみましたのでご覧ください。



1月 初詣 (緩和ケア病棟)



2月 節分 (1階リハ室)



3月 桃の節句 (緩和ケア病棟)



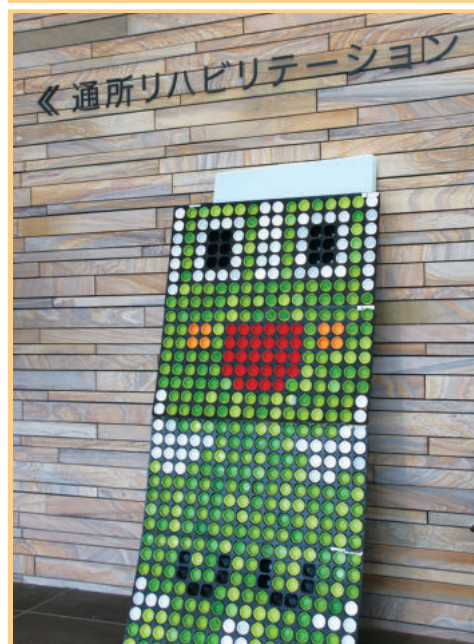
4月 満開の桜 (療養病棟)



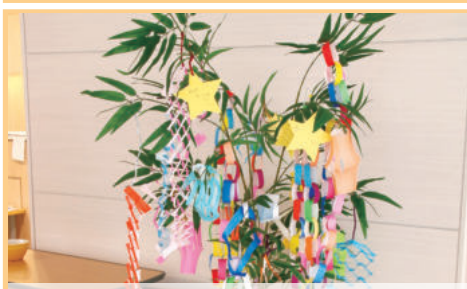
5月 こいのぼり (緩和ケア病棟)



6月 カタツムリと傘 (緩和ケア病棟)



6月 梅雨のカエル (通所リハ)



7月 七夕飾り (回復期リハ病棟)



7月 七夕飾り (通所リハ)



8月 ひまわり (緩和ケア病棟)



9月 十五夜 (療養病棟)



10月 紅葉狩り旅行 (療養病棟)



11月 紅葉 (1階リハ室 OT 作品)



12月 クリスマス (療養病棟)

新しい施設のご紹介

永生会では今年2つの施設を新設いたします。2月に、在宅診療を中心としたグリーンガラス南大沢クリニック、3月には認知症グループホーム南風（みなみかぜ）を開設いたします。2つは同じ建物であり、複合施設となります。

■ グリーンガラス南大沢クリニック

ご挨拶

今回新設されます、「グリーンガラス南大沢クリニック」の院長を務めさせていただきます、重松 恭祐と申します。永生会の理念を患者様に届けていけるよう、職員と力を合わせて取り組んで参ります。

グリーンガラス南大沢クリニックが開設される八王子市下柚木は、市の東南部に位置し多摩ニュータウンを構成する地区です。多摩ニュータウンは22万4,000人が暮らしており、そのうち5万5,000人が65歳以上の高齢者となっています。この高齢化が進んでいるエリアを中心に、八王子市東部から日野市、多摩市、町田市にかけての在宅医療を担っていきたいと考えています。

千人町のクリニックグリーンガラスとの連携はもちろんのこと、永生会の事業所との連携を密にし、患者様、関係者様に満足いただける診療をお届けできるよう努めてまいります。何卒よろしくお願いたします。



重松 恭祐

グリーンガラス南大沢クリニック

☎ 042-682-3580



2階が 認知症グループホーム南風
1階が グリーンガラス南大沢クリニック となります。

所在地



八王子市下柚木 2-26-11

■ 認知症グループホーム南風

ご挨拶

認知症グループホーム南風（みなみかぜ）開設準備室の石井です。

永生会ではじめてのグループホーム寿限無開設から13年が経ち、ご入居からお看取りまで数多くの入居者の生活支援に関わってまいりました。地域の方々に支えられながらあっという間に13年が経過したような気がいたします。

この度、3月1日に八王子市下柚木に新しくグループホームを開設することになりました。名前を「認知症グループホーム南風」と言います。グリーンガラス南大沢クリニックとの複合施設ですので、より安心してご入居いただけるホームだと自負しています。八王子の南エリアにも良い風が吹くよう、グループホームの特性を活かした、良いホーム作りに専念して参りたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



石井 啓輔

認知症グループホーム南風
入居のご相談・お問合せはこちらまで

開設準備室 ☎ 042-662-5015 (※こちらの電話番号は開設準備室の電話番号です。3月になりましたら電話番号は変わります。)

訪問看護ステーションめだかが 梶田からみなみ野病院隣接地に 移転しました

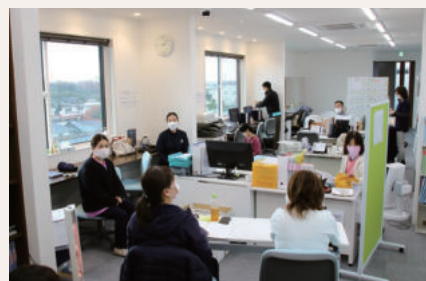


〒192-0916 八王子市みなみ野 5-30-41 TEL : 042-683-1522



11月20日にみなみ野病院隣接地の住宅街の一角に事務所を移転いたしました。高台に位置しており、北側の窓の向こうには美しい山並みが広がっています。特に夕暮れ時の景観はスタッフの癒しになっています。これから新しい場所で心機一転、力を合わせてめだかを盛り上げていきたいと思ひます。

訪問看護ステーションめだか
管理者 岡本 久美子



高齢者あんしん相談センターの取り組み

大学生



大学生やご自宅から参加の方々

訪問看護ステーションとんぼ
理学療法士



訪問看護ステーションとんぼの
理学療法士 藤原さん

地域



自治会館から参加の方々

高齢者あんしん相談センター片倉
生活支援コーディネーター



相馬さん

安藤さん

高齢者あんしん相談センター片倉の
佐藤センター長



高齢者あんしん相談センター片倉では地域の高齢者の方々と創価大学の大学生、訪問看護ステーションとんぼの理学療法士の藤原さん、そして高齢者あんしん相談センター片倉で生活支援コーディネーターを担当している相馬さんとオンラインでの交流会を開催しました。

地域の高齢者のみなさまと、事前に使い方を一緒に勉強したり、パソコンやスマホなどを持っていない方にはタブレットの貸し出しなどをおこないました。

まず、理学療法士である藤原さんと一緒に座ってできる簡単なストレッチをおこないました。緊急事態宣言もあり外出もままならない中、一体感やつながりを感じながら久しぶりに体を動かす

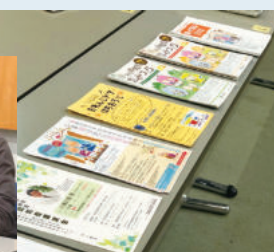
ことができたようでみなさんの顔も笑顔になっていきました。地域のみなさまからは、「画面越しとはいえ、皆様のお顔が見られて良かった」「新しい機器の使い方を教えてもらってうれしい」「緊急事態でなかなか人に会えない中、孫みたいな大学生たちと交流できてうれしい」などのお声が聞かれました。今後も「地域づくり」を目標にもっといろんな人、世代、職種の人たちがつながっていけたらいいと思います。

高齢者あんしん相談センター片倉へのご相談は TEL 042-632-6331

高齢者あんしん相談センター追分では
もの忘れ相談会を

八王子中央図書館で

「最近もの忘れが気になる」「認知症だろうか」と気になっている方「病院にかかるタイミングは?」「家族のことで相談したい」など専門病院に受診した方がよいか迷っていらっしゃるいませんか? 認知症の専門医が個別にお話を伺います。詳しくは 高齢者あんしん相談センター追分までお気軽にお問合せください。



小さなまちの保健室

高齢者あんしん相談センター追分で、毎月第2・第4金曜日に「小さなまちの保健室」を開催しています。ここからだの小さな不調を相談しに来ませんか? 休憩するだけでもOKです! 保健師さんに相談するだけでもところが軽くなるかもしれません。年齢性別関係なくどなたでもお待ちしております!



血圧チェックや体温チェックなどもおこないます



明るいセンター内
ミニ図書コーナーもあります
休憩するだけでも
OKですよ〜

高齢者あんしん相談センター追分へのご相談は TEL 042-686-1713

MERRY
CHRISTMAS!



サンタが各病室まで訪問します



ハンドベルでの演奏



永生病院では

12月に各療養病棟でクリスマス会が行われました。

今年も大きなイベントが出来ない中、スタッフがさまざまな工夫を凝らし感染対策をおこなった上で、クリスマス会をおこないました。

早く合同のイベントができるといいですね!

カニバでの音楽会



お一人おひとりに
クリスマスカードを
手渡す病棟も

年間5,000台の救急車を受入れる南多摩病院を支える縁の下の力持ち 救急救命士科

南多摩病院 救急救命士科のご紹介

南多摩病院では平成27年6月より救急救命士体制が開始され、現在では救急医療の専門職である救急救命士が6名所属しています。
平成31年8月から“救急救命士科”として独立し、院内の一部署として24時間365日救急救命士を配置しています。現在、救急救命士法改正に伴う更なる体制強化に取り組んでいます。



Business content 業務内容

搬送業務

医師の判断のもと、病院救急車を使って病院（施設）間搬送や、在宅療養中の患者様を病院に搬送します。
（一般の患者様からの直接要請はできません）



車輛の管理や点検も大事な仕事のひとつです



院内業務

救急救命士科では搬送業務の予定がない場合、主に救急外来で医師・看護師と共に救急患者の対応にあたっています。救急救命士の配置により医師・看護師・救急救命士が分業化を図れるようになったことから診療効率が向上し、より多くの救急患者の受け入れが可能となりました。



搬送の記録、データ入力、報告書の作成



物品管理、薬剤管理や点検など



診療、処置、検査などの補助

災害医療支援活動 Disaster medical support activities



地震や台風などの災害がおこった場合にすばやく現地入りし、災害医療支援活動を実施します。熊本地震、西日本豪雨、千葉県台風などの被災地で活動をおこないました。
千葉県台風の際は、救急外来・病棟業務支援、転院搬送支援、調整業務支援などをおこないました。災害派遣医療チーム（DMAT）、全日本病院医療支援班（AMAT）、自衛隊、消防などが、病院救急車、自衛隊ヘリ、自衛隊救急車、消防救急車を活用して連携し、実施しました。

永生会

キラリ人



南多摩病院
救急救命士
金子 翔太郎



Q ご自身について教えてください

幼少期から消防署の近隣に住んでいた影響もあり、消防などで人の役に立つ仕事がしたいと思っていました。大学受験時に恩師の勧めで救急救命士の受験資格を取得できる大学へ進学しました。大学時代はマラソンやイベントの救護活動や心肺蘇生法講習指導などに参加しておりました。卒業後は、病院救急車を活用した地域医療への貢献をめざす南多摩病院の取り組みに感銘を受け入職いたしました。

Q 病院救急車について教えてください

主に八王子市内にて地域包括ケアシステムの一助として「在宅療養患者救急搬送支援システム」という事業を行っています。これは、八王子市内で在宅療養中の患者様が体調を崩され、かかりつけの医師が病院にて入院治療を必要と判断した際に、我々が現場へ出動して自宅から入院する病院へ救急搬送をしています。一般の救急車との大きな違いは、患者様から直接要請はできないことと、入院先の病院が決まっていることが前提なので、搬送先の病院を探す時間を省けることです。また、在宅療養中の患者搬送以外では、八王子市内すべての病院を対象に「病院間転院搬送」も対応しています。もちろん要請する病院や医師も永生会に限らず、

八王子市内にて転院先での入院が決まっていることを条件に病院救急車で救急搬送をすることで、転院先である病院や医師から病院救急車を広く利用していただくことを目指しております。

Q 病院で働く救急救命士について教えてください

通常、病院前の救急現場や救急車内にて活躍するイメージのある救急救命士ですが、病院内においてもその知識や技術は十分に発揮できる存在であると考えています。特に救急現場では、あらゆる危険から自身の安全を守る広い視野と「危機管理能力」、限られた資器材と人間の「五感」を最大限に活かした「観察能力」、刻一刻と変化する活動での迅速な「判断能力」は、その場所を選ぶことなく病院内でも十分に発揮できます。また、患者様にとって救急救命士と接する時間のほとんどは、命の危機に迫る様な非日常的な時間であり、「一期一会」となることが多いと思います。そこで培う「コミュニケーション能力」の向上は患者様だけでなく、病院救急車を使って地域や病院との「顔の見える関係性」を構築することで地域医療への貢献につながると考えています。

Q 将来への思いについてお聞かせください

2021年10月に「救急救命士法の一部改正」が行われ、今まで救急救命士が行える救急救命行為は病院前の救急現場や救急車内での活動のみに留めていましたが、今回の改正で場所の制約が一部解除されたことで、医療機関内においても救急救命士の資格を活かして活躍する機会が多くなりました。今後はさらに私のように病院内で働く救急救命士は増えていく事でしょう。これからは救急救命士が病院内で安心して働くため、救急救命士が活動する体制整備など働きやすい環境づくりが急務だと感じています。また、病院内だけでなく救急救命士が地域に必要とされる存在となることで国家資格を活かした救急救命士の職域の拡大に貢献できればと考えております。

